

「授業の質」は間違いなく県内有数のものである

R. M.

東京学芸大学 教育学部 中等国語学科 進学
石岡市立 恋瀬小学校 卒業

私は当然のことながら他の学校の授業を受けたことはないのですが、茨中・茨高の授業の質は間違いなく県内有数のものであると思います。私は中学時代から自主学習の時間を確保することが苦手で、一週間通しての勉強時間が0分ということがほとんどでした。しかし、授業は寝ることなく聞き、定期テストの一週間ほど前から勉強をしていた結果、良い成績を残すことができました。授業をきちんと聞きさえすれば成績は確実に伸びると思います。また、周りにも学力の高い人がたくさんいて日々刺激を受けることができますし、友達にわからないところを聞くこともできます。加えて先生方のサポートも手厚く、わからないところを質問すればわかるまで説明してくれますし、高校3年生時には進路について親身に話を聞いてくださり、自分の納得いく進路の決定に尽力して下さります。

私は中高通してサッカー部に所属していました。部活動はどの部に入ってもいい意味で先輩後輩の垣根がなく、楽しく活動することができます。サッカー部の場合も優しくて絡みやすい先輩だらけで普段の練習から楽しく活動できましたし、試合になればいつもとは違う真剣なまなざしで活躍する先輩方からいい刺激を受けることができました。部活動は先輩後輩と絡む一番の機会なので何かしらの部活動に入るとより充実した学校生活を送ることができると思います。また、学校行事も充実しています。高校の文化祭では、クラスメイトと一致団結して一つの目標を目指して作業します。完成して無事文化祭を終えた時にはとてつもない満足感を得ることができましたし、その先の一年間がより楽しいものになりました。

私は茨中・茨高の良いところとして、学習環境が整っていることがあげられると思います。近くには市民会館や県立図書館があるため勉強する場所には困りませんし、校内にも自習室があります。また、校内の雰囲気も温かく、手厚いサポートを施して下さる先生方と朝早くや放課後に学校で勉強する仲間たちとともに進路の実現を目指すことができます。そして最大の魅力として、生徒を尊重する自由な校風があげられます。私は6年間を通して自分の決定や行動に対して何か強制されたことはありませんし、何か間違ったことをしない限りは私たちを全力で尊重し支援して下さる先生方ばかりなので、楽しい生活を送ることができると思います。

私の進学する東京学芸大学は教員養成の学校として知られています。大学進学後は提携校での授業見学や教育実習、大学での講義を通して教員としての力を養い、初めての一人暮らしやバイトというような経験も教員として活躍するために役立つと思うので全力で頑張りたいと考えています。また、最終的には大学院に進学し、より実践的で専門的な能力を備えたうえで教壇に立って活躍したいです。